

## けた 桁びき網によるズワイガニの資源調査

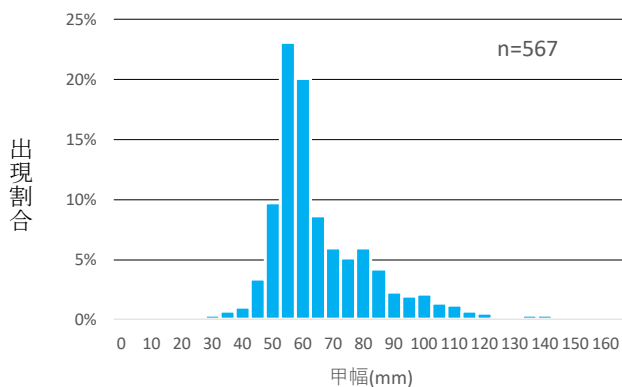
当センターでは、京都府沖合水深 225～255 m の海域において、海洋調査船「平安丸」でけた桁びき網<sup>※1</sup>によるズワイガニの資源調査を 5 月中下旬に 2 回実施しました。

府の底曳網漁業対象種として最も重要な雄ガニは、直近 3 年平均と比べて多く、特に甲幅（甲羅の大きさ）が 50～60 mm の個体の割合が高めでした。これらは、順調に成長すれば数年後には漁獲サイズである甲幅 90 mm<sup>※2</sup>以上に達します。

国の研究機関によると、日本海のズワイガニ資源はこの先 5 年ほど低水準で推移すると試算されており、府沖合海域でも同様の傾向となるのか引き続き注意深くモニタリングし、漁業者に有益な情報提供や資源管理策の提示につなげます。

※1 <sup>けた</sup>桁びき網：鉄枠に漁網を取り付けて海底付近を曳くことで生物を採集する漁具

※2 甲幅 90mm：資源保護のため甲幅 90mm 未満の雄ガニは採捕が禁止されている。



雄ガニの甲幅組成（暫定値）



けた桁びき網の操業